

3名の議員が登壇して発言

紙面の都合により、質問の内容を要約してあります。

山口 宗一 議員

- 1 子育て支援について
- 2 家庭教育のあり方について

9

南 千晴 議員

- 1 任意予防接種について
- 2 定期接種について
- 3 村のバスの利用について
- 4 高校生の通学と公共交通について

10

柳田キミ子 議員

- 1 健康で文化的な住民生活を保障するために
- 2 いじめ、体罰のない明るい学校・地域をつくるために

11

一般質問とは？

議員が、村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をだし、所信の表明を求めるもので、議会の同意を得て質問することができます。(質問・答弁の内容は要約してあります。)



村政を問う

一般質問



開会前の小山会による三味線演奏



一般質問

答 村長 村としては、これから子どもが増えるなら施設の増設を考えますが、そうでなければ投資はしたくない。定員割れしている幼稚園とのバランスが悪い。25度中に幼稚園

問 2月現在、北部・中央・南部保育園の入所定員は、合わせて310名です。しかし、今現在81名オーバーの391名、率にして26%オーバーになっています。特に中央保育園は、定員90名に対し126名と40%オーバーです。このような詰め込み状態の緩和をどう進めて行くのか。

子育て支援の取り組みを問う



山口 宗一 議員

の預かり保育の時間帯を拡大し、26年度から始めていきたい。

問 施設の拡充は考えていないとのことですが、現実40%オーバーで良い保育ができるか疑問です。保育目標は、十分に養護の行き届いた環境のもと、くつろいだ雰囲気の中で子どものさまざまな欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る、としております。そのようなことから、施設を運営する側から考える必要があると考えますか。

答 子育て・長寿支援課 望者を幼稚園へ振り向けるよう、幼稚園で実施している預かり保育の保育時間の拡大を、25年度の早期に調整しながら、保育園と幼稚園の平準化に取り組みたいというのが村長の考えです。



中央保育園の園児の様子

答 子育て・長寿支援課 望者を幼稚園へ振り向けるよう、幼稚園で実施している預かり保育の保育時間の拡大を、25年度の早期に調整しながら、保育園と幼稚園

問 園の平準化に取り組みたいというのが村長の考えです。振り分けがうまくいくとお考えですか。

答 村長 幼稚園での延長保育をし、平準化を考えていきたいです。

教育の出発は家庭から

問 子どもの生きる力を育むためには、子どもの成長のそれぞれの段階に応じた親としての教育的な配慮が必要です。このため、親たちに対する子どもの発達段階に応じた家庭教育

答 教育長 家庭教育については子どもの教育については子どもの教育について

答 教育長 家庭教育については子どもの教育について

問 園の平準化に取り組みたいというのが村長の考えです。振り分けがうまくいくとお考えですか。

答 村長 幼稚園での延長保育をし、平準化を考えていきたいです。

問 園の平準化に取り組みたいというのが村長の考えです。振り分けがうまくいくとお考えですか。

答 教育長 家庭教育については子どもの教育について

答 教育長 家庭教育については子どもの教育について

答 教育長 家庭教育については子どもの教育について

答 教育長 家庭教育については子どもの教育について

て、まず、第一義的な責任を有するものであるということ。二つ目は、地方公共団体が保護者に対する学習の機会、情報の提供、家庭学習を支援するための施策を講ずるよう努めなさいということ。三つ目は、家庭、学校地域社会の連携が必要であるということ。これらが基本と考えています。現在は幼稚園、保育園に対して専門家の講師を招き、ニコニコ子育て講演会を毎年実施しています。学校では、保護者対象の懇談会や

教育相談とか、学校の敷居を低くして悩みを相談できるような機会を工夫していくべきと考えています。

問 親子でさまざまな共同体験、交流活動を行う機会を設けるのも大事なことではないかと考えますが。

答 教育長 これは学校だけでなく、地域社会の協力が必要だと思います。関係課や関係団体と連携をとり、その方法を模索してみたいと考えています。



お相撲さんと「はっきょーい」



南 千晴 議員

おたふくかぜ・
みずぼうそうワクチンに補助を

問 おたふくかぜやみずぼうそうワクチンに補助を行なっている近隣市町村はありますか。

答 健康・保険課長 平成24年12月の時点で、おたふくかぜの公費助成は、前橋市と高崎市が行っており、みずぼうそう

は前橋市のみが行なっています。

問 本村でもこれらの任意予防接種の助成を行なう考えはありますか。

答 村長 国、県、市町村の動向を見守りながら研究をしていきたいと思えます。

四種混合ワクチンの供給と

情報提供

問 昨年の11月1日より導入された四種混合ワクチンは、現在の状況で間に合っているのですか。

答 健康・保健課長 県や国では平成24年度は多少の混乱はありますが、平成25年度になれば落ち着いてくるのではないかと

思います。

という見解です。

問 四種混合ワクチンが、不足気味だということでも保護者の間でも不安の声がありました。村としてもホームページや広報で情報提供を行う必要があったと考えますが、今後

どう対応をいただきたいと思いますか。

答 健康・保健課長 できる内容提供については、率先してやっていきたいと思いますが、予防接種ということで、保健師等と相談をしてみたいと思います。

村のマイクロバスの利用は

問 現状におけるマイクロバスの利用はどうなっていますか。

答 総務課長 マイクロバスはレンタカーではなく公用車として公務に使用する目的で購入しました。規則での使用は村の機関でかつ公務に15名以上が団体行為でしようするとき、1日の走行距離がおおむね300km以内のとき、宿泊を伴う旅行でないとき、の3点を全て満たす場合に使用することができます。

答 総務課長 公務であるかどうかです。原則として、運転手が職員で、一般的に職員が随行または同行することです。

問 マイクロバスの利用に対して見直しを行なう考えはありますか。

答 村長 事故等の心配や公務で使用する件数が増えてきているため他の団体関係に貸す余裕がなく、変えるつもりはありません。

問 中体連以外の大会等に対して柔軟に考えてもらえますか。

答 村長 検討委員会を開き考えていきたいと思えます。

問 高校生のバス利用促進や保護者の負担軽減

高校生のバス通学に補助を

問 駅がない本村では、高校への通学が不便です。バスをはじめ高校生の通学に関する状況を調査してもらえますか。

答 村長 アンケートの調査等を行い、実態を調査することを考えています。

答 村長 高校生と同年代で社会人になり働いている人もいます。学校へ通っているから補助をではなく、高校生も自主性、自立性をもってほしいと考えます。

減のためにバス運賃に補助を出す制度を創設する考えはありますか。

減のためにバス運賃に補助を出す制度を創設する考えはありますか。

減のためにバス運賃に補助を出す制度を創設する考えはありますか。



マイクロバス



生活保護の相談窓口

生活保護基準引き下げの対応は



柳田 キミ子 議員

問 暮らしに困窮した時最後の命綱となる生活保護を受給している世帯数はどのくらいですか。

答 子育て・長寿支援課長 平成23年度のデータでは、村で対応した相談件数が35件、このうち24件を群馬県中部福祉事務所へ引き継ぎました。中部福祉事務所では申請件数16件のうち却下、取り下げを除く適用決定数は13件。本村では、23年度末における対象件数は43世帯65人となっています。

問 政府はこの生活保護基準を10%引き下げるとしていますが、影響は

答 村長 国としても影響の大きさを考え、見直すと考えられています。もし実施されれば、対応措置を敏速にとりたいと思っています。

就学援助制度の充実を

問 申請方法の中で民生委員さんの意見書に

答 学校教育課長 今年度は民生委員さんの意見を頂いていますが、平成25年度からは、要項改正をし、民生委員さんの意見

か。についてはどうなっていますか。

問 就学援助制度の周知方法として、新学期

答 学校教育課長 すべての子どもたちを通して父母に案内を届ける必要があると思えますがどうですか。



安心して勉学に励めるよう制度の充実や環境整備に取り組んでいます

問 支給時期を新学期準備金に使えるよう3

答 学校教育課長 毎月に行けないですか。申請をさせていただき、年3回の支給で第1回は7月末となっております。